

西部地域支え合い 協議会だより



令和 6 年 9 月 発行
発行 西部地域支え合い協議会
発行責任者 長島 安一
鶴ヶ島市西市民センター 1 階
受付時間：水・金 10時～12時
☎・fax 049-214-4005

支え合い協議会の歩み～たゆたえども沈まず～

『西部地域支え合い協議会』は、平成28年に地元14自治会(上・中・下新田第三、町屋、新町、高倉上・下・第二)を中心に設立されました。鶴ヶ島市からの補助金を主な財源として、西部地域の皆様が互いに連携・協力して支え合う地域づくりを目指すボランティア団体です。しかしながら近年は、役員の高齢化・体調等の関係で協議会の存続が危ぶまれる状況となっておりました。

まさに大波に揺られるような状況の中で、支え合い活動は地域に必要とされているのか、令和6年初めに「西部地域支え合い活動アンケート」を実施しました。その結果1000以上の回答をいただき、その中で積極的に地域活動に協力していただけるという回答は182名もいらっしゃいました。多くの方々を新しく迎えることができ、西部地域支え合い協議会は沈むことなく、心機一転4月より活動を継続・再開することができるようになりました。

今後とも地域支え合い活動への皆様方からのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

支え合う地域を目指して ～お互いさまの関わりを～

会長 長島 安一

協議会発足当初から支え合い活動に意義を感じて子ども部会長として活動してきました。支え合い協議会が存続の危機に直面し、このまま終わらせて良いものかとの思いがありました。今回、多くの方の協力によって西部地域支え合い協議会が継続できることにホッとしております。

これから年齢を重ねていく中で、どのように暮らしていきたいのかを考えました。住み慣れた地域で楽しみを持ち続けたい、介護が必要になってもできるだけ自宅で暮らしたい、地震のことも心配だ、等々。

そのためには、支え合いのある地域づくりが必要だと思います。いくつかのお互いさまを考えます。

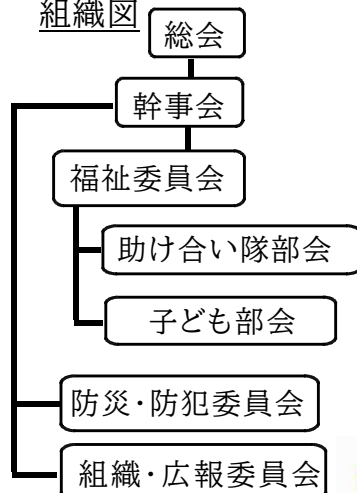
- 私の少しの手助けが、「ありがとう」によって逆に私の元気や充実感になる。だから、お互いさま。
- 困っている人へのお世かけが「ありがとう」に変わる。だから、お互いさま。
- 誰でも順番に年をとる。自分も将来きっとお世話になる。だから、お互いさま。

そのようなお互いさまの関係が当たり前の地域になっていければよいな、と思います。

令和6年度の役員体制

第8回定期総会が4月28日に開催されました。出席42名、委任状41名の83名参加でした。建設的な意見を多数いただきました。(昨年度の総会では出席19名、委任状47、総数66名でした。)

組織図



役員一覧

会 長	長島 安一	福 祉	委員長	浅井 康太
副会長	石塚 武志		副委員長	岩永 由美子
	河村 智成		助け合い隊部会長	高田 泰次
監 事	森田 厚美		子ども部会長	長島 安一
	武田 和子	防災・防犯	委員長	長島 安一
事務局長	椎名 哲夫		副委員長	池野 直輝
会 計	小林 秀明	組織・広報	委員長	河村 智成
			副委員長	岡 聖子

